

2019年度 第5回 WEBアンケート 調査報告書

1 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技 大会」

総合政策局オリンピック・パラリンピック推進部
オリンピック・パラリンピック調整課

2 「身近な水環境」

環境局環境保全部環境保全課

3 「交通ルール」

市民局市民自治推進部地域安全課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」 1
・ 「身近な水環境」 3
・ 「交通ルール」 5
・ 選択肢(その他) 7

回答者属性

回答者数	730人
------	------

性別		
男	348	47.7%
女	354	48.5%
その他	3	0.4%
未回答	25	3.4%

職業		
会社員	248	34.0%
自営・自由業	36	4.9%
パート・アルバイト	126	17.3%
公務員	38	5.2%
学生	17	2.3%
専業主婦・主夫	120	16.4%
無職	123	16.8%
その他	22	3.0%

年代		
～10代	11	1.5%
20代	22	3.0%
30代	114	15.6%
40代	222	30.4%
50代	156	21.4%
60代	93	12.7%
70代以上	112	15.3%

居住区		
中央区	143	19.6%
花見川区	123	16.8%
稲毛区	111	15.2%
若葉区	101	13.8%
緑区	87	11.9%
美浜区	155	21.2%
市内在勤・在学	10	1.4%

2019年度 第5回

調査名	「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」「身近な水環境」「交通ルール」
調査期間	2019年8月1日(月)午前10時～10日(水)午後5時

概要:	<p>1「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」 2020年7月から幕張メッセでも開催される「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」と言います。)」に関する皆さまの意識を把握し、「東京2020大会」に向けた施策に活用いたします。</p> <p>2「身近な水環境」 身近な水環境※に対する意識や考えをお聞かせいただき、千葉市水環境保全計画の推進状況を把握する指標の一つとして活用いたします。 ※川や海、湧き水など</p> <p>3「交通ルール」 みなさんの交通ルールやマナーに関する認識や考え方をお聞かせいただき、交通安全を守ることの周知や啓発などの取り組みの参考とするものです。</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

参考URL	https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/mizu.html http://www.city.chiba.jp/shimin/shimin/chiikianzen/koutuanzen_top.html
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

Q1: はじめに、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」についてお聞きします。

「東京2020大会」の開催を楽しみにしていますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

オリンピック、パラリンピック共に楽しみ	412	56.4%
オリンピックは楽しみ	102	14.0%
パラリンピックは楽しみ	3	0.4%
どちらともいえない	138	18.9%
楽しみではない	75	10.3%

Q2: 幕張メッセでオリンピック3競技※1、パラリンピック4競技※2が開催されることを知っていましたか。

※1 レスリング、フェンシング、テコンドー

※2 車いすフェンシング、テコンドー、ゴールボール、シットイングバレーボール

(いくつでも)(入力必須)

[n=730]

全部の競技を知っていた	184	25.2%
オリンピック3競技は知っていた	124	17.0%
パラリンピック4競技は知っていた	15	2.1%
一部競技は知っていた	369	50.5%
知らなかった	78	10.7%

Q3: 東京2020大会の情報をどのような方法で入手していますか。

(2つまで)(入力必須)

[n=730]

テレビ・ラジオ	524	71.8%
新聞・雑誌	273	37.4%
市の刊行物(市政だよりやパンフレット、チラシなど)	250	34.2%
市のホームページ	69	9.5%
市以外のホームページ	76	10.4%
SNS(Twitter、Facebook、LINE、Instagram)	100	13.7%
友人・知人からの情報	47	6.4%
イベント会場・体験会などでの告知	43	5.9%
入手していない	65	8.9%

Q4: 千葉市では、東京2020大会に向けた、ボランティア活動の盛り上げと、大会後も千葉市におけるボランティアの裾野を広げるために、「チーム千葉ボランティアネットワーク」を運営しています。どのようなボランティア情報があると良いと思いますか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=730]

スポーツ関連ボランティア情報	246	33.7%
身近なボランティア活動(読み聞かせやレクリエーションの補助)の情報	254	34.8%
知識や技術習得に繋がる講座などの情報	244	33.4%
イベント開催情報	309	42.3%
ボランティア活動の学習機会(研修)に関する情報	202	27.7%
ボランティアを受け入れる団体やNPOなどに関する情報	199	27.3%
登録者が集まるボランティア活動の意見交換会に関する情報	68	9.3%
わからない	133	18.2%
その他()	16	2.2%

Q5: この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか。(東京2020大会関連以外の活動も含む)

(1つだけ)(入力必須)	[n=730]	
ある →Q7へ	154	21.1%
ない	576	78.9%

Q6: Q5で「ない」と回答した人にお聞きます。
参加しなかった理由は何ですか。

(いくつでも)	[n=576]	
時間がない	291	50.5%
参加経費(交通費等)の、経済的負担が大きい	103	17.9%
参加手続きが分かりにくい	149	25.9%
ボランティアを受け入れる団体・NPO等に対する不信感がある	0	0.0%
一緒に参加する人がいない	113	19.6%
ボランティアを募集していることを知らなかった	143	24.8%
ボランティア活動に興味がない	89	15.5%
その他()	54	9.4%
未回答	14	2.4%

Q7: 「東京2020大会」の開催決定から、障害のある人に対する理解がどのように変わっていると感じますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=730]	
良くなった	86	11.8%
少し良くなった	288	39.5%
変わっていない	274	37.5%
少し悪くなった	4	0.5%
悪くなった	3	0.4%
わからない	75	10.3%

Q8: 障害のある人に対する市民の理解度についてどのように感じますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=730]	
よく理解されている	13	1.8%
おおむね理解されている	230	31.5%
あまり理解されていない	358	49.0%
まったく理解されていない	23	3.2%
わからない	106	14.5%

Q9: 次に、「身近な水環境」についてお聞きます。

本市で一番身近(親しみ)に感じる水環境は何ですか。
(いくつでも)(入力必須)

(いくつでも)(入力必須)	[n=730]	
生実川	21	2.9%
勝田川	12	1.6%
鹿島川	15	2.1%
坂月川	47	6.4%
支川都川	30	4.1%
花園川(草野水路)	60	8.2%
花見川	299	41.0%
浜田川	40	5.5%
浜野川	17	2.3%
都川	139	19.0%
村田川	42	5.8%
葭川	61	8.4%
いなげの浜	345	47.3%
検見川の浜	222	30.4%
蘇我地区の海辺	65	8.9%
千葉港	283	38.8%
幕張の浜	252	34.5%
湧き水	14	1.9%
大百池	76	10.4%
大藪池	5	0.7%
生実池	95	13.0%
特にない	67	9.2%
その他()	23	3.2%

Q10: 身近な水環境にふれあう機会(水辺の散歩、水辺での生きもの観察など)の頻度はどれぐらいですか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

毎日	22	3.0%
週に3回程度	32	4.4%
週に1回程度	65	8.9%
月に1、2回程度	117	16.0%
年に数回程度	258	35.3%
ほとんどない	236	32.3%

Q11: 身近な水環境はきれいだと感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

感じる	24	3.3%
どちらかといえば感じる	198	27.1%
どちらかといえば感じない	337	46.2%
感じない	171	23.4%

Q12: 身近な川や海、湧き水などに生育・生息する生きものは多いと感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

感じる	29	4.0%
どちらかといえば感じる	210	28.8%
どちらかといえば感じない	351	48.1%
感じない	140	19.2%

Q13: 本市の水環境に関する問題で、一番気になることは何ですか。

[選択肢補足]

※「谷津田」とは、台地・丘陵地との間の浅い谷で、湧水を利用して営まれる水田のことを言います。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

雨が短時間で集中的に降るようになった	224	30.7%
雨の時に道路や宅地などに大きな水たまりができる	180	24.7%
雨の時に川の水かさが急に増える	37	5.1%
地下水が汚れている	27	3.7%
湧き水が少ない	50	6.8%
湿地・湿原(谷津田※を含む)が少ない	36	4.9%
地下水の量が減っている	10	1.4%
特にない	130	17.8%
その他()	36	4.9%

Q14: 本市では、谷津田に様々な動植物が生息していることから、谷津田を保全する取組みを行っていますが、知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=730]

知っていた	297	40.7%
知らなかった	433	59.3%

Q15: 水環境を良くするために、あなたができることは何ですか。

[選択肢補足]

※1かん養域とは、地面をコンクリートで覆わないことにより、雨水が土壌に浸透し地下水が補給される場所のことを言います。

※2雨水浸透施設とは、屋根に降った雨を集めた「ます」や「排水管」の側面などに穴が空いていて、そこから雨水を地中に浸透させるものです。

(3つまで)(入力必須)

[n=730]

節水	484	66.3%
排水の汚染対策	402	55.1%
雨水利用	157	21.5%
水辺でのごみ拾い	175	24.0%
かん養域※1の確保	47	6.4%
雨水浸透施設※2の設置	0	0.0%
谷津田保全活動(刈払いや用水路の整備など)への参加	46	6.3%
生き物調査活動(水辺に住む水生生物や水質の調査など)への参加	66	9.0%
特にない	42	5.8%
その他()	12	1.6%

最後に、「交通ルール」についてお聞きします。

Q16: 自転車に乗る方にお聞きします。自転車に乗る際、守ることを心がけている交通ルールやマナーはなんですか。
(いくつでも)(入力必須) [n=730]

原則として車道の左側を通行する	396	54.2%
歩道を通行するときは、歩行者を優先し、その安全を確保する	413	56.6%
信号を守る	431	59.0%
早めにライトを点灯する	310	42.5%
二人乗りはしない	337	46.2%
飲酒運転はしない	315	43.2%
ヘルメットを着用する	41	5.6%
自転車を利用していない →Q20へ	207	28.4%

Q17: 自転車に乗る際に交通ルールやマナーを守らない場合の理由は何ですか。
(いくつでも) [n=523]

交通ルールやマナー違反だと知らなかった	73	14.0%
警察の取り締りや注意を受けない	43	8.2%
他の自転車利用者も守っていない	58	11.1%
安全を確認している	188	35.9%
危険だと思わない	49	9.4%
急いでいた	110	21.0%
常に交通ルールやマナーを守っている	199	38.0%
未回答	24	4.6%

Q18: どのような自転車保険等※に加入していますか。
※自転車に関する交通事故により生じた損害(他人にケガを負わせることによる損害賠償金等を含む)をてん補する保険又は共済を言います。また「TSマーク」とは、自転車安全整備士が自転車の点検・整備を行い、安全が確保された場合に貼られるマークで、有効期間内(1年間)に発生した、相手方に死亡又は重度の後遺障害を負わせた事故への賠償責任保険が付いています。
(1つだけ) [n=523]

加入している(自動車保険や火災保険などの特約)	173	33.1%
加入している(TSマーク付帯保険)	68	13.0%
加入している(保険会社などの「自転車保険」)	55	10.5%
加入している(クレジットカードに付帯した保険)	15	2.9%
加入している(学校などが窓口の「総合補償制度」など)	8	1.5%
加入しているかどうかわからない	46	8.8%
加入していない	139	26.6%
その他()	4	0.8%
未回答	14	2.7%

Q19: 自転車を利用する際、あなたを含めご家族の中であなたが自転車用ヘルメットを着用していますか。
(1つだけ) [n=523]

小学生未満	28	5.4%
小学生	22	4.2%
中学生・高校生(19歳未満)	4	0.8%
19歳以上30歳未満	0	0.0%
31歳以上65歳未満	20	3.8%
65歳以上	4	0.8%
着用していない	389	74.4%
未回答	12	2.3%

Q20: 道路を歩行する際、守ることを心がけている交通ルールやマナーはなんですか。
(いくつでも)(入力必須) [n=730]

信号を守る	623	85.3%
横断歩道のないところでは道路を横断しない	293	40.1%
道路をななめ横断しない	316	43.3%
スマートフォンなどを操作しながら歩かない	544	74.5%
イヤホンで音楽などを聞きながら歩かない	460	63.0%

Q21: 道路を歩行する際の交通ルールやマナーを守らない場合の理由は何ですか。

(いくつでも) [n=730]

交通ルールやマナー違反だと知らなかった	69	9.5%
警察の取り締りや注意を受けない	55	7.5%
他の歩行者も守っていない	54	7.4%
安全を確認している	313	42.9%
危険だと思わない	87	11.9%
急いでいた	188	25.8%
常に交通ルールやマナーを守っている	238	32.6%
未回答	29	4.0%

Q22: 自転車や歩行者に限らず、交通ルールやマナーを守ってもらうために、どんな手段が効果的だと思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=730]

法改正(交通違反の厳罰化など)	353	48.4%
道路環境の整備(交差点へのカメラ設置、スピード抑制のため路面に凹凸をつけるなど)	369	50.5%
学校での交通安全教室の時間の増加	318	43.6%
職場などでの交通安全教室や啓発	186	25.5%
市民が集まる場所やイベントなどでの交通安全についての啓発	235	32.2%
地域での交通安全に理解のある人材の育成(「自転車リーダー」など)	80	11.0%
テレビやラジオによる交通安全についての啓発	210	28.8%
ホームページによる交通安全についての啓発	83	11.4%
メール、SNS(Twitter、Facebook、LINE、など)による交通安全についての啓発	128	17.5%
その他()	67	9.2%

選択肢:その他()

千葉市では、東京2020大会に向けた、ボランティア活動の盛り上げと、大会後も千葉市におけるボランティアの裾野を広げるために、「チーム千葉ボランティアネットワーク」を運営しています。どのようなボランティア情報があると良いと思いますか。

<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに参加された方(様々な年代)からの体験記や参加に至るまでの動機などが記載されたコラムなどがあると様々な層からボランティアに対する興味が得られるのではないのでしょうか。また、初心者の方でも参加できるような活動(経験者の指導がある、初心者の方が多く参加されているなど)が分かりやすく表示されていると、「参加したいけどなかなか踏み出せない」という方の後押しにもなるのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアをする人の真のメリット。「やりがい」などといった薄っぺらいものではなく、「最初からボランティアを利用しようとして低待遇で色々やらされる」という印象を払拭すべき。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの裾野は広げないほうがよい。必要な労働があるなら、それに相応する賃金を支払って協力してもらうべき。この活動の経費や人件費を、労働者への賃金に回してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動している人の一日の流れが知りたいです。全くボランティアをした事がないので、どんな雰囲気なのか、年齢層や知っておくべき基礎知識などあれば知りたいです。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピックは高度の商業化されている。実質、商業イベントなのに、ボランティア募集というのは矛盾している。自治体がかかわることにも反対する。
<ul style="list-style-type: none"> 設問の意味がよく分かりません。ボランティアを募りたいという事でしょうか。それとも、活動情報を提供するという意味でしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> 参加したいという人の意志は貴重なものではあるが、はなからボランティアに頼るばかりの運営ではよくないのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティア応募するも落選、観戦チケット応募するも、千葉市開催分は全て落選。関心が低くなっています。
<ul style="list-style-type: none"> 無料で働くということがボランティアではないということをお教え、自主的に働く対価を支払うべき。
<ul style="list-style-type: none"> ネットでできるボランティア活動(お問合せサイトへの多言語での回答など)。
<ul style="list-style-type: none"> 幕張の浜から稲毛の浜の海辺を綺麗に、賑やかにするボランティア。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピックに興味がないので情報は必要ない。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピックに興味がない。
<ul style="list-style-type: none"> 交通整備の充実。
<ul style="list-style-type: none"> 特に情報は不要。
<ul style="list-style-type: none"> 応急手当。

Q6: 参加しなかった理由は何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 身体的、体力的理由・・・10件
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが小さいため・・・8件
<ul style="list-style-type: none"> 年齢的な理由・・・8件
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに参加したいのですが、子供が小さく、なかなか参加できずにいます。東京オリパラ関連のボランティア講座にも参加希望ですが、ほとんどが土日開催で、時間も長いので、子供を預けてまで、参加することは難しいです。平日の学校がある時間帯に開催していただけたら主婦層でも参加出来る方が多いのではないかと考えます。親子そろって、海外からいらしたかたをもてないしたい気持ちはありますので、親子参加型のボランティア講習会などがあると嬉しいです。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピック自体に疑問がある。オリンピックは高度の商業化されている。スポンサー企業の募集、スポンサー企業が就いた分野での他社製品の露出の制限、高額なチケット販売価格、テレビ放映権。大会の経費を賄うためならわかるが、オリンピック利権があまりに巨大。そのうえ、施設の建設は開催地・国の負担。こんなふざけた商売にボランティアなどあり得ない。自治体は関わらざるべきじゃないし、多額の出費自体、止めるべき。
<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ等のボランティア活動をやりたいが、どこで募集しているのか、区役所で聞いても「分からない」と、言われました。ネットでも今一つ、わかりません。横浜市なら、すぐに出てきたのですが……。千葉市も、ボランティア系の情報を開示してほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 学生時代、就職後しばらくはボランティア活動に参加をしていましたが、ライフスタイルなどが変わりボランティア活動に参加する時間が得られなくなりました。今後、自分の時間が再度得られた際はまた参加したいと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> 15年ほど前に、特養の老人ホームで3年ほどボランティアをやったことはあるが、腰痛をおこしやめて以来していません。体力の衰えで残念ながらだめ。総合活動情報のシステム等があれば選択しやすい。
<ul style="list-style-type: none"> それ以前に地域などの活動などに10年近く参加した期間もありました。上記のようなものにいちど参加をすると地域が聞きつけしつこくあれもやれ、これもやれと、やっと言われなくなったところ です。
<ul style="list-style-type: none"> 以前は語学ボランティア千葉市、県のイベントに参加したが年を取ったのもっと若い人活躍してもらおうと今は引退したつもりです。
<ul style="list-style-type: none"> 「参加したいか」と聞かれたら「参加したい。」意思はあるものの、きっかけがないため参加には いたっていない。
<ul style="list-style-type: none"> 妊娠中、子育て中のため、興味のある分野でやってみたいと思いつつ、現実的にさける余力があまりない状態です。
<ul style="list-style-type: none"> 興味があってボランティアのための語学研修に申し込んだが、抽選漏れして機会を逃して以 来、やる気がそげた。
<ul style="list-style-type: none"> 千葉は交通の便が良くない。車を運転しないので公共交通機関を利用してゆけないところは参 加できない。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに割く時間があるならば、家族とも過ごしたいし、副業に手を出してみたいくらい。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアではなく仕事なら興味あった。仕事もないのにボランティアなんてやっていられな い。
<ul style="list-style-type: none"> 夫婦とも後期高齢者として何とか頑張っているがボランティアする元気は無い。
<ul style="list-style-type: none"> 健康上の支障なども踏まえ、自分が参加できるボランティアの機会がない。
<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者でも受け入れてくれるなら、経済的な負担がなければやりたい。
<ul style="list-style-type: none"> 参加したい気持ちはあるがいろいろ考えすぎて申し込む勇気が出ない。
<ul style="list-style-type: none"> 子育て中なので、ボランティア時に子供を預けられるところがない。
<ul style="list-style-type: none"> 人間関係が面倒くさそう。なんか勧誘されそう。お金を取られそう。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピックは商業行為なのだから、対価をきちんと支払うべき。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもがいるため参加出来る気がしない。できれば参加したい。
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの内容を詳しく知る情報が目につかない。
<ul style="list-style-type: none"> オリンピックボランティア講座に応募したが外れた。
<ul style="list-style-type: none"> 平日は仕事、休日はサークル活動で忙しいため。
<ul style="list-style-type: none"> 自分に合う活動内容がない。
<ul style="list-style-type: none"> 対価が支払われないから。
<ul style="list-style-type: none"> 一度やるとやめにくい。
<ul style="list-style-type: none"> 興味のある活動がない。

Q9: 本市で一番身近(親しみ)に感じる水環境は何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> 引っ越してきてあまり経っていないので、よくわからない
<ul style="list-style-type: none"> 緑区おゆみ野地区泉谷公園から大百池公園のせせらぎ
<ul style="list-style-type: none"> 大百池～泉谷公園(おゆみの道)の人工の小川
<ul style="list-style-type: none"> 普段からあまり身近に水環境を感じない
<ul style="list-style-type: none"> 青葉の森公園内の水生植物園など
<ul style="list-style-type: none"> おゆみ野区画整理地区内の水路
<ul style="list-style-type: none"> おゆみ野の遊歩道の人工川
<ul style="list-style-type: none"> 中央公園の噴水、青葉池
<ul style="list-style-type: none"> 昭和の森、下夕田池

- ・ 小学校のビオトープ

・ 千葉公園の蓮池
・ ろっぽう水の道
・ 花島公園の池
・ 千葉公園の池
・ み春野貯水池
・ 六方用水路
・ 創造の杜
・ 泉谷公園
・ 日本池
・ 十勝川
・ 綿打池
・ 泉公園
・ 綿打池

本市の水環境に関する問題で、一番気になることは何ですか。

Q13: [選択肢補足]

※「谷津田」とは、台地・丘陵地との間の浅い谷で、湧水を利用して営まれる水田のことを言い

全国的に気候変動による水害や土砂災害が頻発する中、近年、本市周辺では、下水道の排水不良など人為的なものを除き、大きな被害を伴う災害の記憶がない(平成元年8月に大雨による冠水被害があったことは記憶しているが)。

好ましいことではあるが、反面、災害予防や防災意識が希薄となり、いざというときに大きな被害が生じないか気にかかる。

千葉市だけではありませんが、特に房総台地の山間部に産廃処理場が多く、十分な管理が来ていないと思います。

- ・ 特に下流に水田や農地が多い鹿島川・村田川等の水源地域への産廃処理場の営業は条例で禁止して欲しい。千葉県・千葉市は悪意のある業者に対してもきちんと管理出来ているのでしょうか？

- ・ 水の汚染とその浄化。自然環境の保護に行ってしまうがちですが、温暖化して腐敗しやすくなる、化学物質の混入など、人への影響が心配されます。また、豪雨による災害も各地で発生し、千葉市でも見直しが必要ではと思います。

- ・ 花見川は濁っているし、水辺は危険。川岸も数メートルのコンクリートの壁。海岸はたまに行くが、そもそも、海水に入らないよう注意書きがある。子供にも入らないよう、注意している。

- ・ 稲毛の小中台付近を流れる小川(小中台幼稚園で合流して稲毛の浜に流れ込む)が人工的に岸を作られていて、水が汚い。自然な形で治水できるような形がよいと思う。

- ・ こどもの通う大森小学校の校庭の西側から西門近くのあたりが、大雨で水没することが多いようなのが、気になります。

- ・ 稲毛の浜や幕張の浜、千葉みなと、このあたり全体は汚い。水遊びができる程度の綺麗さにしてほしい。

- ・ 内陸部の宅地開発が無駄に進み過ぎて降雨後の水資源がすぐに河川に流出するようになった。

- ・ 栄町付近の葎川の汚さ。投げ入れられたゴミ、自転車などヒドイ。定期的に掃除をして欲しい。

- ・ 人工海浜の浸食が進んで砂の補充がされていない。生物、植物が少ない。

- ・ 「本市の水環境」という広い視点をもっていないのでなんとも言えない。

- ・ 護岸整備と生物多様性は共存しにくい関係ではないか。

- ・ 創造の杜の小川のようなものや、池から匂いがする。

- ・ 千城台南のカスミの崖下にある調整池に蚊がわく。

- ・ 草野水路の水のにおいが夏場は気になる。

- ・ ミシシippアカミガメがたくさんいる。

- ・ 花見川の藻が川をおおっていること。

・ 都川、葎川の汚さがとても気になる。
・ 夏になると青潮が出て臭くなる。
・ 冠水注意の地下道があり怖い。
・ 川にゴミが浮いていて汚い。
・ 赤潮・親潮時の臭気・・・。
・ 川などにいる野鳥が少ない
・ 川の水がきれいではない。
・ 川があまり綺麗でない。
・ 死亡事故が後を絶たない
・ 川の汚れ、周りの雑草。
・ 千葉みなどが汚い。
・ よくわからない。
・ ゴミの不法投棄。
・ 青潮の発生。
・ ごみが多い。
・ 赤潮の臭い。
・ 水質が悪い。
・ 川が臭い。
・ 外来生物。

水環境を良くするために、あなたができることは何ですか。

[選択肢補足]

- Q15: ※1かん養域とは、地面をコンクリートで覆わないことにより、雨水が土壌に浸透し地下水が補給される場所のことを言います。
 ※2雨水浸透施設とは、屋根に降った雨を集めた「ます」や「排水管」の側面などに穴が空いていて、そこから雨水を地中に浸透させるものです。

・ 花見川だけでもきれいな川にできないだろうか(汚水対策・川岸の清掃・川の中の清掃→子供でも川遊びができる区域はできないだろうか) 予算も立て、ボランティアも募集すること。
・ 近所のオオキンケイギクについて、県の環境部局にメールを送ったことがあるが、完全に無視された。県の環境部局にたいしては、不信感しか残っていない。
・ 道路を水が吸収される構造の物に変えて欲しい。学校の帰りに、車に水を跳ねさせられびしょ濡れで子供が帰ってきました。
・ 公共工事を請け負う水道事業者の中には、産廃費用を浮かせる理由で、側溝に汚泥を違法投棄をしている業者がいる。
・ 産廃処理場に対する市民のモニター制度構築・運用への協力。
・ 適度なゴミの放流(栄養源)
・ ゴミの不法投棄をなくす。
・ やつたの場所も知らない。
・ 水辺にゴミを捨てない。
・ せっけん使用。
・ 側溝の掃除。

どのような自転車保険等※に加入していますか。

- Q18: ※自転車に関する交通事故により生じた損害(他人にケガを負わせることによる損害賠償金等を含む)をてん補する保険又は共済を言います。また「TSマーク」とは、自転車安全整備士が自転車の点検・整備を行い、安全が確保された場合に貼られるマークで、有効期間内(1年間)に発生した、相手方に死亡又は重度の後遺障害を負わせた事故への賠償責任保険が付いています。

・ 加入していると、親から聞いているが、どのようなものかは知らない。
・ 生命保険に付帯する個人賠償保険。
・ 個人賠償責任保険。
・ 総合賠償保険。
・ 生協。

Q22: 自転車や歩行者に限らず、交通ルールやマナーを守ってもらうために、どんな手段が効果的だと思いますか。(いくつか)

<p>千葉市の「交通哲学(仮)」の確立。千葉の道路には昔ながらの農道にそのままアスファルトを被せたような「道路とは車道のことなり」の道路が多いように思います。クルマで1km遠回りしたところでタイムロス2分、余分にかかるガソリン代は数円～10数円。自転車専用レーンの設置は素晴らしいことですが、歩行者専用レーンの設置がありません。歩道もツギハギですし、肩幅もない路側帯を歩かなければならないことがあります。私は健康のために10km以上歩くこともザラですが、交通システムに関与している先生方は一度歩行者として歩いてみると良いと思います。「クルマは歩けない人が乗る道具」そんなことになっていることも、高齢者をクルマ依存にさせている理由のひとつかと存じます。</p>
<p>東京都の私立大学の例ですが(数年前に本人は卒業)、大学に自転車で通学する場合は万一の場合に対応できるように高額保証ができる損害賠償保険の加入を義務付けしていました。この保険は確か、コンビニで加入することが出来たはずで、意外に少額で加入することが出来ます。まずはそういう年代から、保険をかけるほど自転車で走行することは危険性があるということ意識させた方が良くと思います。</p>
<p>市民への心掛けを誘導する以前に、道路に自転車用のラインを引いているが、危なくてそんなところを自転車で走行できないし、車側にしてもそんなところ走行されたら危なくて仕方ない。だから歩道を注意して走行しているのに、自転車のマナーばかりを取り上げるのは不公平。まずは自動車、歩行者、自転車がそれぞれ安心して利用できる道路整備をするべきではない</p>
<p>横断歩道のところで渡りたい人が待っていても車が止まってくれないので困ります。たまに止まってくれる車があるので、その時は渡り終えたらお礼のお辞儀をするように子ども達に教えています。子ども達よりも運転者の方がマナー違反、交通違反が多いように感じています。教習所で習ったことを改めて学習できる仕組みがあればよいと思います。</p>
<p>私がいた静岡の小学校では独自に自転車の講習を行い、本人に自転車を運転させ合格した人しか自転車に乗れないなどにかく交通安全に力を入れていました。最近、歩道を凄いスピードで走り抜ける小学生を度々見かけます。親御さんと並走したりと、歩道のマナーさえ守りません。千葉市では自転車マナーなどを実際に教えないのでしょうか。</p>
<p>大きな道路では、車が優先されるのは当然だが、横断歩道などが歩行者に不便に設置されているのは理解できない、いちいち何度も信号を待たないと渡れないのはルールを破れと言っているようなものだ。場所であれば、14号と交差する千葉西警察の交差点のようなところ。東京に向かう14号には千葉側の横断歩道が設置されていない。</p>
<p>一番気になるのは横断歩道に歩行者がいるのにほとんどの車が止まらないこと。それも含め、子供の頃から交通ルールの当たり前を伝えるために、子供、保護者が一緒に参加する交通安全教室があると良いと思う。車のルールも子供が知ることで、家庭で子供から保護者に注意する場面も増えるのではないかと思う。</p>
<p>幕張本郷付近で自転車利用時に車道の左側を走っていると、バスによくクラクションを鳴らされます。プロフェッショナルのドライバーであるバス会社ですらこの程度の意識なのに、一般市民にルールを理解して頂くには大規模な広報活動が必要だと思います。応援しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>自転車専用レーンが危ないので誰も走りません。路上駐車があたり、右折車があると左側に車が寄ってきて大変危険です。そもそも自転車はスピードが出ないのに、車は40キロ制限だったり、それ以上スピードが出ています。市長や担当者は自分の子供や奥さんにも自転車専用レーンを走らせていますか。</p>
<p>車道の一部に設けられた自転車走行帯の取って付けたような工事・条例・法律はアホらしい。無駄金使う余裕なんかないのに、もっとよく考えてほしい。かえって車道を自転車が我が物顔で走るようになっていないか。原付きでさえ二段階右折なのに、右折レーンに自転車が入るとかおかしい。</p>
<p>法改正に含まれますが、自転車が歩道を走行する際のルールが車道側の指定だけで、双方から自転車が鉢合わせした場合、走行位置が被る。また、歩行者がそもそも車道側に寄っていると、避けるために車道とは反対側に行かないといけないので、車道側に自転車走行レーンが欲しい。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車は車道を走る、というルールを守るのは不可能。歩行者が自転車にはねられるより自転車が自動車にはねられるほうが被害が大きいから車道を走りたい人は少ない。歩道で歩行者と自転車が共存できるルールにすべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路環境の整備として、明確な自転車専用道、歩行者専用道の設置。住宅街は基本的に住民や関係者、運送で用がある車以外(通り抜けなど)の通行を禁止してほしい。道路が車優先になっている社会の見直しを。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車やバイクの免許を持っていない人間に、自転車は車両なので交通ルールを守れと言っても、そもそも法規を知らないのが、話にならない。特に年寄りが許しがたい通行をするために歩行者、車両方が迷惑。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県警本部前の交差点ですら、しっかり取り締まられてないのですから、ルールを守る気が無い人には完全に嘗められていると思います。まずは常に警察人員を配置して、「現場で指導」するのが重要かと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分からない。守る人は守るが、守らない人は守らない。道路上に注意書きを書く程度しか思いつかない。だが、現状では、市道の白線自体、薄くなり、消えかかっている、引き直しが行われない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供を連れた大人が、横断歩道ではない場所を渡る光景を見ると、いくら学校で安全指導をしても効果が期待できないと思う。交通ルールが守れないのは、大人の方が多いのではないのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 酒酔い運転、あおり運転、暴走行為など悪質な交通違反や、反社会性の強い犯罪を犯した者については、車が扱い方によっては凶器となり得ることを踏まえ、自動車運転免許の欠格とする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ その他 その他:交差点の見守り活動に小学生も参加させてあげて欲しい(授業の一環として行うなど) 横断歩道以外を渡る老人が多過ぎる。大人が注意しても逆切れされるので。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 70才以上の高齢者は歩道を自転車で通って良いことが法で決まっていますが、この事をもう少し周知させて欲しい。私も最近知りましたが、高齢者の安全確保のためにも是非。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車の夜間無灯火、自転車通行帯の逆走、信号無視などの危険な走行を目の当たりにすることが多いです。違反の厳罰化ではなく、警察による路上指導の強化等が望まれます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 法改正(交通違反の厳罰化など)、道路環境の整備(交差点へのカメラ設置、スピード抑制のため路面に凹凸をつけるなど)、その他 その他:取り締まりの強化、厳罰化。
<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し市の職員や警察官などが街頭で実際に注意する頻度を多くしてほしい。自転車のマナーが悪くてそこに警察官がいてもなにも注意しない例がよくある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発しても若い親には無駄な気がする。ルール守らない人は、聞く耳なんか持たない。学校教育において義務化するとか。あおり運転とか、人間性がダメ。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 補足ですが、SNSで話題にのぼると他人事とは思えなくなるのでSNSで拡散するのが良いと思います。SNSをやっていない方には縁がないのですが。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車専用レーンが危険なため、取りやめをしてほしいと思う。歩道を広くし、その中に自転車専用レーンを作してほしい。車も自転車も危なくて困る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人材育成しても、法改正してリーダーに一定の権限を与えないと育成する意味がないですよ。駐車取り締まりのおじさんたち程度の権限はないと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生への自転車やキックスケーターの安全教育、交通教育の強化を願いたい、放課後の自転車やキックスケーターはとても危険です。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者によるルール違反がひどいと思います。横断歩道を使わずに横断、信号無視など、高齢者の教育を重点的に行ってください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 車がえる道路では、必ず車道と歩道を分離する。費用は車を使用する人から、何らな方法で徴収する(歩行者優先主義)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールだけではなく社会全体のルールを守らない人が増えている。大学進学対応以前に、道徳教育の徹底をはかるべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯やスマホを見ながらの歩行の厳禁を徹底したい。高校生など登下校の自転車ながら運転しているのを見かける。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通公園にて常勤で子供達に交通指導をして欲しいです。未就学の子供から指導した方が良いかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者、特に認知機能障害等のある方、精神的障害のある方に対する啓発方法を考えていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールやマナーが守られない時間、場所、事例などを研究して守りやすい環境に変えていく工夫。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車で車道を走るためにはバリアが多すぎる。空き缶、落ち葉、路上駐車、ステップ、など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ スピードの出るマウンテンバイクは歩道走行を禁止する。親族を歩道で轢き殺されたので。
<ul style="list-style-type: none"> ・ スピード抑制のための凸凹だけはやめてほしい。自転車乗る人のことを考えていない証拠。

・ 本当に危険な場所のみ標識を立てる(信号機も有効な時間帯を見極めること)。
・ 自転車置き場を含めて、自転車の安全性が考慮されているような環境には無い。
・ 厳罰化して罰金等を厳格に定め、知らないで済まないような運用の徹底。
・ セーフティウォッチャーさんみたいな、自転車見守り隊がいたら良い。
・ 自転車専用道路の幅を広くする。全地域に自転車専用道路を作る。
・ 安全が確保できる交通ルール。の改正、道路幅の改修工事。
・ 自動車や歩行者の交通量に適宜合わせた適切な信号制御。
・ もっと積極的に自転車の交通ルールを公開してほしい。
・ 道路環境の確立。自転車専用道路の確立。
・ 人間に「心のゆとり」を持ってもらう。
・ 警察の取り締まりを大幅に増やす。
・ 現場での立ち合い指導を強化する。
・ 警察官による取り締まりの強化。
・ 本当に危険な行為の取り締まり。
・ 自転車運転者の講習、認定証化。
・ 歩行者を守る運転者を増やす。
・ 警察による取り締まりの強化。
・ 自転車の道路の整備と安全化。
・ 自転車の免許が必要だと思う。
・ 自電車専用レーンを増やす。
・ 警察官が路上で指導する。
・ 取り締まりの強化。
・ 警察の取り締り。
・ 自転車の免許制。
・ 警察により監視。
・ 中国語での啓発。
・ 警察官の立会。
・ 車の排除。
・ 罰則強化。